

移動距離が短い中央通路に設置

〈喫煙ブース『スモーククリア』〉



中央通路に設置した『スモーククリア』。設置後、簡単に移動させることができるのも同製品の魅力

パールショップともえ松戸店



各島からの移動距離が少ないため、遊技中でも気軽に移動できる

パールショップともえ稲毛長沼店



遊技しながら喫煙ブースの使用状況が確認できるので、喫煙したいタイミングで足を運べる

千葉県を中心に31店舗のホールを展開する「ともえグループ」はこれまで、時代のトレンドを取り入れたハイセンスな店作りを行ってきた。10年以上前にガラスで仕切った完全分煙店舗「パールショップともえ川越店」を出店するなど、喫煙環境に対する意識も高い。

4月の改正健康増進法の実施を見据えた動きも早い。松戸市の『パールショップともえ松戸店』は昨年12月、エルゴジャパンの喫煙ブース『スモーククリア』を導入。中央通路に設置した。

「4月以降、パチンコホールが完全分煙になることを知らないお客様は意外と多いので、早めに導入することで周知させていきたいと考えました」と語るのは笠松孝司店長だ。

中央通路に設置したのは、遊技機から近い場所に設置することで、プレイヤーのストレスを軽減

させ、さらに移動による稼働ロスを防ぐため。今後、利用状況などをみて設置場所の変更や増設を検討していくという。設置後の移動にフレキシブルに対応できるのも『スモーククリア』のメリットだと笠松店長は評価する。

同じく、千葉県千葉市の『パールショップともえ稲毛長沼店』も昨年12月に『スモーククリア』を導入。同店はオープン当初から通う常連客が多いこと、さらに喫煙者

の割合が高いのが特徴で、その割合は7割に達する。それだけに喫煙ブースの設置は重要だった。

山田和義店長は「タバコが吸えなくなることをネガティブに捉えてもらわないように、4月以降もしっかりとした喫煙環境を用意しています」というメッセージが必要でした。ブースを設置したこと喫煙者に安心感を与える一方、非喫煙者からは「これでたばこの臭いを気にしないで遊べる」と喜びの声をいただいています」と『スモーククリア』を導入した手応えを口にする。

同店では2月までの間、喫煙ブースの使用率や来店客の反応を見増設も考えている。



喫煙ブースにPOPを貼り、4月からの改正健康増進法の実施を来店客に伝えている

「現場でいただいた意見や要望は、スタッフ私が私まで吸い上げてくれていきます。実際に『多人数用は導入するのかわ？』など、意見をいただいていますので前向きに検討しています」と山田店長は話